令和元年度 学校教育目標等

| 教育局 上川 | 学校 | 北海道旭川東高等学校 | | 課程 | 全日制課程 |
|--------|----|------------|--|----|-------|
|--------|----|------------|--|----|-------|

学校教育目標

- (1) 広く語らい信頼を深め、自ら啓発し、共に鍛えよう。
- (2) 本校の歴史・伝統を踏まえ、理想的な学園の建設に努めよう。
- (3) 有為な社会人、国際人となるための教養を高めよう。
- 1 育成を目指す資質・能力

身に付けさせるべき8つの力【旭東ディプロマポリシー(旭東DP)】

①認知力 ②分析力 ③思考力 ④表現力 ⑤共感力 ⑥探究力 ⑦行動力 ⑧創造力

2 重 点 目 標

- (1) 自ら問いを立て、解決への道筋を探り、新たな価値を生み出そうとする生徒を育成する。
- (2) 粘り強く問い続ける力を持った生徒を育成する。
- (3) 心豊かで、リーダーシップを発揮できる生徒を育成する。

3 教育課程編成の方針

- (1) 学習指導要領の趣旨に則り、人間性豊かな生徒の育成を目指し、学校・地域の実態を捉え、 医進類型等の取組を図り、生徒の能力・適性・進路等に十分配慮して編成する。
- (2) 各教科・科目等については、学習目標を設定し、基礎・基本を確実に身に付けさせるとともに、進路実現に有効な学力水準の維持を図るように編成する。
- (3) 特別活動については、自主的・実践的な態度を育成するとともに、心身の調和のとれた発達を図るように編成する。

4 指導上の重点事項

| 学習指導 | 主体的に学び、考えを主張し、知的好奇心あふれる生徒を育成する。。 (1) 育成すべき生徒像や旭東DPを踏まえた上で新教育課程に対応した学習指導方法の改善に組織的に取り組む。 (2) 生徒の学習の量的確保と質的向上に努める。 (3) 生徒の授業満足度を高める取組と学習状況を的確に把握する評価の改善を行う。 (4) 授業、課外活動を通して生徒の生涯にわたる知的態度の涵養に努める。 | | | | | | | |
|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 生徒指導 | 全教職員が共通理解のもと、生徒理解に努め、生徒が自覚を持ち、責任ある行動と自立心をもった自主的な活動を推進する。 (1) 基本的な生活習慣を確立し、社会性を培い、自立心の向上に努める。 (2) 家庭や関係機関との連携を強化し、生徒理解の深化と指導の充実に努める。 (3) 情報機器の使用マナーの向上や情報モラルの育成に努める。 (4) 特別活動の充実や部活動の活性化を通して、豊かな心の育成や心身の健康の維持、増進に努める。 (5) 事故の未然防止に向けた取組を推進するとともに、早期発見・適切対応に努める。 (6) 自他の生命を尊び、安全教育の強化・交通道徳の育成に努める。 | | | | | | | |
| 進路指導 | 進路意識の高揚や実力養成等を通して、一人一人の進路実現を図る指導体制を確立する。 (1) 進路指導部を中心とした体系的・継続的な進路の充実に努める。 (2) 進路意識の高揚のための的確な進路情報の提供、関係機関との連携の強化に努める。 (3) 早期の進路目標設定と実現に向けたキャリアガイダンスの充実に努める。 (4) 実力養成に向けた指導の充実を通して、進路実績の向上に努める。 | | | | | | | |
| 健康・安全指導 | 健康・安全についての理解を深めさせ、生徒の自他の生命を尊重する心と安全・環境意識の向上を図る。 (1) 環境や安全に関する意識の高揚と実践的態度の育成に努める。 (2) 教職員の研修を深め、教育相談体制を充実させるとともに、関係機関と連携したメンタルヘルス活動の推進に努める。 (3) 特別支援教育の理解、教師のカウンセリング能力の向上等を通して、特別な支援が必要な生徒に対する指導の充実に努める。 | | | | | | | |